

能登半島災害復興支援 チャリティーコンサート

G. F. ヘンデル作曲

オラトリオ《メサイア》より

第1部「預言と降誕」

第3部終曲“Worthy is the Lamb - Amen”

クリスマス・キャロル

オーケストラと共に一緒に歌いましょう

指揮、テノール

畑 儀文

ソプラノ

ガハプカ 奈美

メゾソプラノ

八木 寿子

バリトン

篠部 信宏

管弦楽 ザクセン・カンマーオーケストラ

合唱 大阪バッハ合唱団

合唱団ピアニスト 城村 奈都子

2024. **12.15** 日 13:30開場
14:00開演

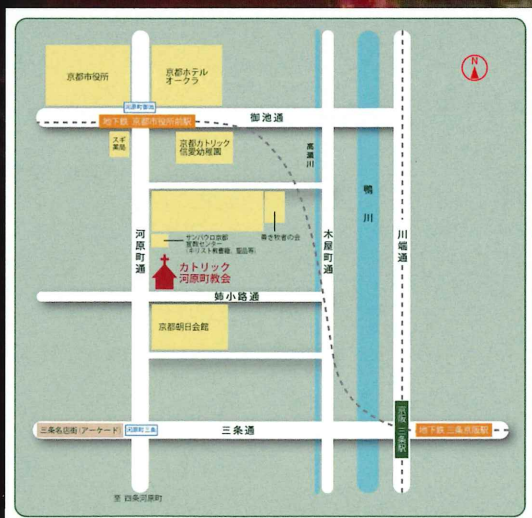
カトリック河原町教会

京都市営地下鉄「京都市役所前」駅下車 南へ徒歩約3分
京阪電車「三条」駅下車 西へ徒歩約5分 阪急電鉄「河原町」駅下車 北へ徒歩10分
京都市営バス4系統、5系統、17系統、205系統で「河原町三条」停留所 下車すぐ

前売 ¥2,500 当日 ¥3,000 全席自由

■チケット販売・お問い合わせ
カトリック河原町教会事務室 075-231-4785

■主催
カトリック河原町教会クリスマス実行委員会



▲QRコードを
読み込むとカトリック
河原町教会を
Googleマップで
表示できます



指揮、テノール 畑 儀文

兵庫県丹波篠山市出身。大阪音楽大学大学院修了。1979年、小林道夫氏の伴奏による初リサイタルを行う。以後、テノール・ソリストとして、ペーター・ダム(ホルン)、ユリウス・ベルガー(チェロ)との共演、イェルク・デームス、ロジャー・ヴィニョールズ、小林道夫の伴奏による数多くのリサイタル等、大きな成果を取めた。91年蘭アムステルダムの高名なバロック歌手M.v.エグモントのもとで研鑽を積む。以後オランダ各地で毎年受難週には、福音史家として招かれ、また独ライブツィヒ・ニコライ教会においてJ.S.Bachの作品のソロを務めた。93年~99年3月にかけて、シューベルト歌曲全曲演奏を成し遂げ国内外で話題を集めた。日本コロムビアから5種類、(株)エールから2種類のCDをリリースし、その天性の歌声はジャンルを問わず、心に響く感動を呼び注目を集めている。2024年5月Eckelshausener Musiktage(ドイツ)、8月Sommerkonzert(ウイーン・リヒテンタール教会)で歌曲集「美しい水車屋の娘」を弾き歌う。「大阪文化祭賞」「咲くやこの花賞」「坂井時忠音楽賞」「兵庫県文化賞」等多数の賞を受賞。丹波の森国際音楽祭シューベルトティアードたんば音楽監督。京都女子大学非常勤講師。



ソプラノ
ガハプカ 奈美

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業後、ミュンヘン州立リヒャルト=シュトラウス音楽院大学院オペラ科を経て、ドイツ国立ベルリン芸術大学オペラ・劇場研究科を修了。その後中央ドイツ歌劇場ヴィッテンベルク専属ソリストとなり、歌劇《ヘンゼルとグレーテル》グレーテル役でデビュー。オペラ歌手としての活動に加え、ドイツ各地でオペレッタ、歌曲、オラトリオと幅広く歌い、高く評価され演奏活動の場を国内・外と広げている。また在独中には音楽学校や小学校の声楽科で教鞭をとり、後輩の育成にも力を注いできた。現在、京都女子大学教授。



メゾソプラノ
八木 寿子

福岡教育大学卒業、京都市立芸術大学大学院を首席にて修了。第81回日本音楽コンクール入選、第17回友愛ドイツ歌曲コンクール第1位、第9回東京音楽コンクール第1位など受賞多数。「ヘンゼルとグレーテル」ゲルトルート(日生劇場)、「ローエングリン」オルトルート、「ニュルンベルクのマイスタージンガー」マグダレーネ(以上びわ湖ホール)などのオペラ、またバッハ「マタイ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、ヴェルディ「レクイエム」など数多くの作品でソリストをつとめ、音楽誌などで高い評価を得ている。今年3月、びわ湖ホールでの「ばらの騎士」オクタヴィアン役の好演も記憶に新しい。京都女子大学非常勤講師。



バス・バリトン
篠部 信宏

大阪芸術大学大学院修了。卒業時に学長賞受賞。第1回大阪国際音楽コンクール声楽部門第3位受賞。2009年丹波の森国際音楽祭のシンボルアーティスト。2005年より毎年渡欧M.v.Egmond氏に師事。2017年3月オランダにてバッハ「マタイ受難曲」のイエスを、ドイツにて同曲のバスアリアを歌いバーディッシュ新聞紙上で絶賛される。2019年11月ドイツアイゼナハバッハ音楽祭にて「ロ短調ミサ」のソロを務めた。宗教曲のソリストとして日本テレマン協会定期、大阪フィルハーモニー交響楽団いずみホール特別公演、関西フィルハーモニー管弦楽団定期等に出演、多数の作品を歌い高い評価を得ている。現在、シノベムジアカデミー代表、京都バッハソリスト所属、京都ゲヴァントハウス合唱団音楽顧問、日本テレマン協会ソリスト、京都女子大学非常勤講師、大阪芸術大学非常勤講師。



合唱 大阪バッハ合唱団

2015年大阪バッハ合唱団の前身となるパッションコア・ザクセンコアが誕生。音楽監督に畑儀文が就任。以後毎年、受難節にはJ.S.Bachがされたように、マタイ受難曲とヨハネ受難曲を交互に演奏してきた。秋冬にはロ短調ミサ、クリスマス・オラトリオ、マニフィカトを演奏。2017年には、オランダ・アルクマール、ドイツ・フライブルグで、2019年にはアイゼナハ・ゲオルク教会、ライブツィヒ・ニコライ教会で、其々ロ短調ミサを演奏。2021年にはライブツィヒ・トーマス教会、ワイマール・ヘルダー教会で演奏する予定だったが、コロナ感染拡大の為に中止となる。

管弦楽 ザクセン・カンマーオーケストラ

大阪バッハ合唱団と共演するために、コンサートマスターの釋伸司氏によって結成された室内オーケストラ。バロック音楽に精通しており、その技術と音楽性に高い評価が得られています。大阪バッハ合唱団の前身Chor Sachsen とPassion Chor発足以来、常に大阪バッハ合唱団と共演。

